

赤い羽根 心がつながる 支えあい



赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。



社協だより

208号
令和5年10月号

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

赤い羽根共同募金運動はじまる 10月1日～12月31日

たすけあいの心

日本で共同募金運動が始まり、今年で77年目になります。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、新



ありがとうございます
ございます



型コロナウイルス感染症による様々な影響もあり、人々の生活や意識も変わってきました。このような時でも人々がともに生きていくという「たすけあい」の心は変わらずに、人々の幸せを願って、今年も共同募金運動が始まります。

令和4年度の
募金実績額は、
1049万8039円

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

令和4年度、みなさんのご協力で1049万8039円の募金が集まりました。ありがとうございます

令和4年度
募金の使いみち

金会へ送金し、配分委員会などの審査の後、市社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。昨年度に集まった募金は「令和4年度共同募金の使いみち(表1)」のように有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

令和5年度
の募金目標額

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

今年度の目標額は、昨年度実績と同額の1049万8039円です。今後も安定、継続して地域福祉事業を行うための「目標額」です。

一世帯700円の
目安額

市全体の目標額を達成するために、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいのか」ということが分かります。計画されている事業が実施できると「目安額をお知らせすること」にしています。

これは、募金目標額を達成するためにお願いする「目安」ですので、みなさん

令和4年度 共同募金の主な使いみち

(表1)

昨年度集まった、みなさんからの募金は下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさまのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。



項目	金額
高齢者の福祉に ●在宅介護者家族の会の支援 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●配食サービスボランティアの支援	840,000円
障がい児・者の福祉に ●身体障害者福祉協会の支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●宗像コスモス会への助成金	1,557,000円
ボランティア活動に ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	534,000円
福祉会活動の支援に ●地域住民の自主的な地域福祉活動 ●民生委員児童委員協議会への助成金	2,732,000円
児童・青少年の福祉に ●市内幼稚園、保育園、小中学校、高校への福祉教育推進事業 ●小学校での車いす体験や手話体験などの福祉教育事業	538,300円
子育て支援活動に ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●NPO法人むなかた子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子寡婦福祉会の支援	45,000円

その他、県内の福祉施設への支援、災害ボランティア活動、福祉に関する情報提供や啓発活動などに活用されています。

力をお願いいたします。多くの人に支えられている共同募金

災害等準備金の積み立て

「共同募金実績額内訳(表2)」をみると、戸別募金各世帯からの募金(共同募金全体の約9割)を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。また、地域のいろいろな場面、自治会長や隣組長、事業所や公共施設、福祉団体、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつくっていく原動力となります。

力となります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。災害等準備金の積み立て

令和4年度 共同募金実績内訳表 (表2)

街頭募金 135,755円
自動販売機を活用した募金など 232,826円
バッジなど購入による募金 616,467円



——— 赤い羽根共同募金配分団体紹介 ———
子どもたちの心が豊かになるように

宗像市立日の里東小学校 校長 大淵 裕三子さん

日の里東小学校では毎年、学年に応じた福祉教育に取り組んでいます。今回は5年生の取り組みを紹介します。テーマは「考えよう！年を重ねると？」です。

学習の取り組みでは、「日の里地区の高齢化の現状」や「認知症」について学ぶとともに高齢者疑似体験も行いました。その中で子どもたちは高齢化率の高さに驚いたり、実際に経験し知識を深めることで具体的な支援や接し方について学んだりしました。そして、学習の最後にシニアクラブのみなさんとの交流会を実施しました。同じ地域に住む方々との交流を通じて「私たちと違うところはあがるが、夢を持つことは同じだ」「今後もあいさつや声掛けをしていきたい」と地域の方々とつながることへの意欲を高めることができました。

福祉教育が赤い羽根共同募金の配分金のおかげで取り組んでいることに感謝して、今後も子どもたちの心が豊かに育つよう努めて参ります。

高齢者交流



高齢者疑似体験

障害者生活支援センター

（宗像市役所・北館1F）
 土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分～午後5時
 ☎(34)2411 (FAX)(34)2422
 メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

第1回ピアサポート事業参加者募集
「ゆつたり茶話会」

7月2日(日) 河東コミセンで、手話教室と交流会を盛り込んだ茶話会を開催しました。



ピアサポーターによる手話教室の様子

手話教室では、当センターのピアサポーターが講師となり、「おはようございます」「こんにちは」



「は」などの日常生活の挨拶から、「楽しい」や「悲しい」などの感情を表す手話を学びました。手話は手の動きだけではなく顔の表情もとても大事なという説明を受け、「楽しい」を伝えるときは笑顔で、「悲しい」ときはしょんぼりとした表情で、参加者みんな練習をしました。手話タイム中は、思わず答えを口に出してしまったり、笑いで包まれる場面もありました。



倒れそうで倒れない！ハラハラドキドキ

交流会では、サイコロトークを行いました。サイコロの出た目によってお題を決めておき、順番にサイコロを振ってトークをします。今回は、「好きな○○」この夏したいこと」などのお題を準備。人前でうまく話ができるか不安な様子の参加者でしたが、好きな食べ物や話から美味しいカレーパンのお店の情報など、不安をよそに話題を広げて話をしていました。残りの時間は、オセロや昔懐かしい魚釣りゲーム、ジェンガなどをして過ごしました。全体を通して2時間でしたが、あつという間に時間が過ぎ、参加者からは「楽しかった！また参加したい」といった声が聞かれました。

＊ピアサポート事業で使ったおもちゃはメイトム宗像にある「おもちゃ図書館」からお借りしました。ありがとうございました

第2回ピアサポート事業参加者募集
「ゆつたり茶話会②」



同センターでは、障がいのある人やピアサポーター（障がいのある当事者・家族の相談員）が一緒に活動をするピアサポート事業を開催しています。

今回は、ハロウィンが近いということでみんなが仮装をして茶話会を開催します。障がいのある人で、レクリエーション活動を通じて仲間づくりをしたい人の参加を待っています。もちろん初めての参

加も大歓迎です！詳しい内容については、問い合わせください。

- 日時 10月29日(日) 午前10時受付～正午解散予定
- 場所 メイトム宗像 101会議室
- 対象 障がいのある人
- 定員 10人程度
- 参加費 300円

- 持参品 仮装グッズ
- 申込期間 10月20日(金)まで
- 申込は先着順とさせていただきます。定員に達し次第受付を終了いたします
- 問い合わせ先 同センター
- FAX (34) 2422

ひとり親家庭 日帰り旅行

宗像市母子寡婦福祉会が、市内在住のひとり親家庭の親子を対象に、日帰り旅行を開催します。今年の日先は「大島」です。あなたも、ひとり親家庭の仲間と親子で楽しいひと時を一緒に過ごしませんか？

●日時 10月29日(日)
 ●対象 市内在住のひとり親家庭の親子

●行き先 大島
 ●参加費 ▶会員=1人500円
 ▶非会員=1人800円
 ●定員 30人 (応募多数の場合は抽選)

●申込方法 10月19日(木)までに市社会福祉協議会 ☎(37)1300へ電話で申し込む



在宅介護者 1泊リフレッシュセミナー



市内在住で、在宅で介護をしている方を対象に「在宅介護者一泊リフレッシュセミナー」を開催します。このセミナーは、在宅で介護している人の「心」と「からだ」のリフレッシュを目的に実施しています。

今回の行先は、熊本を予定しています。ちょっと介護の手を休めて、介護者同士で楽しいひと時を過ごしませんか？

- 主催 市、市社会福祉協議会
- 日程 11月16日(木)～17日(金)
- 対象 市内在住で、在宅で介護している人
- 行先 熊本県玉名市(予定)
- 参加費 7,000円
- 募集人員 25人(応募多数の場合は抽選)



令和4年度 1泊リフレッシュ事業の様子

●申し込み方法 10月31日(火)までに市社会福祉協議会あてに氏名・住所・連絡先・介護をしている人の氏名を電話またはFAXで申し込む

ご寄付 ありがとうございます

- 【香典返し】(敬称略)
- ・(故)古江ミチ子(三郎丸)
- ・(故)安永英之(神湊)
- ・(故)佃ナヲ(田熊)
- ・(故)牧タキ(光岡)
- ・(故)広橋久生(鐘崎)
- ・(故)廣田孝夫(上八)
- ・(故)大和邦夫(村山田)
- ・(原)野口準二(吉留)
- ・(故)伊豆善之(自由ヶ丘)
- ・(原)野口準二(武丸)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。振込や現金書留等でも受け付けが出来ますので、お問い合わせください。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いします。

社協だよりは、偶数月発行です(年間6回)
 社会福祉法人 **宗像市社会福祉協議会**
 宗像市久原180番地 メイトム宗像内 ☎(37)1300
 大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれ愛センター内 ☎(72)2294
 ホームページ <http://syakyo.munakata.com/>
 メール info@syakyo.munakata.com
 本会は、むなかたタウンブレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています